

令和3年度 学 校 ・ 施 設 評 価

子育てセンターひだまり

学校・施設関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和 4年 3月 3日 ※新型コロナウイルス感染症の影響により書面及び一部対面にて実施

【学校・施設関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 2名 接続教育機関委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

自己肯定感・貢献感・感謝の気持ちを育む
いきいきと活動できる子・おもいやりのある子・ありがとうの気持ちを表せる子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
学校・施設評価の具体的な目標や計画】

- 1. 人と関わる心を育む
～友だちとの遊びが深まり、主体性を育むための環境づくり～
- 2. 絵本の世界を楽しむ
～豊かな感性で表現を楽しむための保育をめざして～

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

【自己評価に対する評価】

評 価 項 目 (要確認事項・自己評価の中からの抜粋)	評 価 結 果				意見（評価、気づいた点等）
	4	3	2	1	
1. 重点目標について	○				評価重点項目自己評価平均値 3.22
【評価重点事項（評価の視点）】 1) 重点目標を理解している 2) 重点目標を教育・保育の計画に反映させている 3) 重点目標について具体的取り組みを行っている 4) 日々の取り組みを見直し、重点目標の達成に努めている					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ
2. 教育・保育の計画性について	○				評価重点項目自己評価平均値 3.15
【評価重点事項（評価の視点）】 1) 法人のグランドデザインを理解している 2) 常に「こどもがまんなか」を意識し、教育・保育にあたっている 3) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を意識して取り組んでいる 4) 指導計画は幼保連携型認定こども園教育・保育要領、教育課程、園児の実態や関心、 学びの連続性や季節の変化などが考慮されている 5) 指導計画は、園児の生活が豊かになるよう、園生活が家庭や地域社会と 連続性をもてるよう配慮されている 6) 週間指導計画は、年・月間指導計画などの長期的な指導計画と関連させながら、 園児の興味や関心・意欲に合わせた活動が展開できるようにしている 7) 発達段階に即した絵本や遊びに必要な遊具や用具を用意している 8) 園児が楽しい雰囲気の中で、安心して自ら活動を展開していけるような 場や空間の構成をしている 9) 季節や子どもたちの興味関心に合わせて保育室の装飾や展示を考えている 10) 安全で関津間のある環境の中で過ごせるよう、換気、採光、室温などに配慮したり 清掃したりしている 11) トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、園児にも正しい使い方を 具体的に示している 12) 日々自分の教育・保育の反省を行い、次の計画に反映させるようにしている 13) ほかの保育教諭の教育・保育を見て、自らの教育・保育の参考にしている 14) 園児のことについて、保育教諭同士で話し、学年を超えて情報を共有している					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ

3. 教育・保育の在り方、幼児への対応		○			評価重点項目自己評価平均値 3.35
【評価重点事項（評価の視点）】 1）一人ひとりの園児をよく観察するよう心掛けて、話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている 2）園児の気持ちに共感しながら、一緒に遊んでいる 3）「先生のようにやってみたい」と園児が思うような、モデルとしての姿を心がけている 4）子どもの性差、障がい、個性等によって区別、差別をしないで、園児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている 5）園児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している 6）園児をほめたり、励ましたり、目標を持てるような言葉かけをし、禁止・命令・自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている 7）異年齢の園児たちとかわかれるよう、計画・実践している 8）園児一人ひとりの日々の健康状態を把握して、体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温するなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している 9）けがや事故には特に気を付け、万一事故・けがが発生した場合は、速やかに適切な対応をとっている 10）十分に身体を動かし、楽しさを体験できるよう時間と場所を確保するなどの配慮をしている 11）戸外の活動後の手洗いやうがい、食事前・排泄後の手洗いの励行など、清潔の習慣が身につくよう指導している 12）活動後の片付けなどが自分たちで出来るよう指導している 13）環境の工夫や畑活動（栽培・収穫・クッキング）等、園児が食に興味を持てるような工夫をしている 14）危険の予測される場合は、園児たちと一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている 15）つまづきや葛藤、けんかなどが園児の育ちにかかせないものとして捉え、対応している 16）園児同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付き、思いやりの気持ちが持てるよう援助している 17）友だちと一緒に一つのことをやり遂げることにより、達成感が味わえるような機会を作っている 18）よいことや悪いことがあることに気付き、考えて行動することが出来るように支えている 19）順番を守るなどきまりの大切さを理解できるように、説明している 20）当番活動やお手伝いなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしている 21）身近な動植物に興味・関心を持つことの出来るよう、図鑑を並べたり、飼育・栽培することのできる環境を整えている 22）園児が身近な動植物の世話をする中で、生命の尊さに気付くよう、年齢に応じた働きかけをしている 23）園児の「どうして」「なぜ」という疑問を大切に、一緒に調べたり、考えたりしている 24）物を大切に使えるように指導している 25）園児が見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で相手に解りやすく話せるよう援助している 26）人の話を聞くことの大切さに気づくよう働きかけている 27）絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わえるよう、読み方を工夫している 28）歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気付き、楽しめるよう援助している 29）直接体験や心を動かす体験を多く設け、イメージを豊かにできるような機会を作っている 30）いろいろな体験の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わえるようにしている					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ
4. 保育教諭としての資質や能力・良識・適性		○			評価重点項目自己評価平均値 3.47
【評価重点項目（評価の視点）】 1）保育教諭としての専門知識や技能を身に付けようと研修している 2）仕事の手順をよく考え、工夫して行っている 3）園児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする 4）「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございます」などの挨拶は気持ちを込めて言葉で表している 5）自らの健康にも配慮し、また、服装、髪型、身だしなみなども清潔感のあるものを心がけている 6）職務上、知り得たプライバシーに関する個人情報などの取扱は十分配慮している 7）クラス内だけでなく、園内外の清掃や整理整頓をし、活動に必要な教材、教具の点検をしている 8）職員全員でひとつのチームであることを意識している 9）他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる 10）当番や役割による仕事は責任を持って行なっている 11）上司の指示、命令には責任を持って実行している 12）園児と一緒に喜んだり苦しんだり考えたりし、生活を創りだすことに楽しみを感じている 13）園児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じている 14）園や園児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味を持っている 15）四季や自然の変化に気付いたり、命の尊さを感じたりしている					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ

5. 保護者への対応		○			評価重点項目自己評価平均値 3.35
【評価重点項目（評価の視点）】 1) クラスや子どもの様子、保育で大切にしていることなどをクラスだよりや口頭、対面などで知らせている 2) 口頭、対面、電話、連絡帳（おまかせ保育システム）などで、緊急な連絡等を行なっている 3) 個々の子どもの様子は面談や送迎の際直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝え合っている 4) 参観会・懇談会等を通じて、家庭の教育力を支えるよう、子どもや保育・家庭でのあり方について、保護者と情報を共有している 5) 必要に応じて保護者と話し合ったり、個別に保育の様子や子どもの様子をみてもらう 6) 保護者の話は心を開いてよく聞き、自分の考えはきちんと話をしている 7) 保護者と共に園づくりをするために、具体的な協力のあり方を協議したうえで、必要に応じたボランティア活動等の協力を求めている 8) 保護者参加型の行事を行い、保護者が体験的に園の様子を知ったり、子どもの成長を知る一つの手段としている 9) 就学を意識し、知り得た小学校の情報や就学に向けた園としての取り組みを各年齢の発達段階に合わせて保護者に伝えている。 10) 保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や副園長等に報告や相談をしている 11) 保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている 12) 親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない 13) 電話は、相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心がけている 14) 長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている 15) 保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している 16) 生活の連続性を意識した活動を提案・提供している 17) 園児のその日の様子を、各担任から預かり保育・遅番保育担当に伝達したり、預かり保育・遅番保育担当は、各担任から子どもの情報を得たり確認したりしている					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ
6. 地域の自然や社会とのかかわり		○			評価重点項目自己評価平均値 3.20
【評価重点項目（評価の視点）】 1) 地域のことに関心を持ち、親しみを持ってあいさつや会話を交わしている 2) 地域の自然や主な行事、施設の場所、公共交通機関について理解し活用している 3) 園の教育・保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解し教育・保育活動を行っている 4) 卒園した子どもの情報を得るよう小学校の行事や公開授業、保幼小連絡会に関心を持っている 5) 地域子育て支援センター等の利用者や来園者に対し、あいさつや会話をする等来園しやすい雰囲気づくりに努めている					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ
7. 研修と研究		○			評価重点項目自己評価平均値 3.07
【評価重点項目（評価の視点）】 1) 自己課題・考えをもって研修会等に参加する、自己学習をするなど、意欲的に学んでいる 2) 研修会や自己学習等での学びは、他職員と共有している 3) 研修会や自己学習等での学びを、日々の実践に生かしている 4) 保育教諭としての専門性を高めるため、発達理解・保育者同士の連携・保護者対応等の研修会や研究会に参加したり、自己学習をしている 5) 園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っており、さまざまな利用方法について研究している 6) 子どもをとりまく様々な状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりしている 7) 様々な変化の中で、園児にとって何が問題であるか、園としてはそれに対してどのような教育・保育を行わなければならないかについて考えたり学習している					【自己評価の数値の見方】 4. はい 3. 大体あてはまる 2. あまりあてはまらない 1. いいえ

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
学校・施設評価の具体的な目標や計画に対する評価】（評価点数、4. 3. 2. 1）

評 価	理 由（意 見）
4	コロナ禍で難しい時期であるが、目標を達成するため職員が協力し努力する姿勢がみられた。子どもを大切に、主体的に取り組むことができる環境づくりをしっかりと行っていた。

【総合評価】

※自己評価・外部アンケートを踏まえて学校・施設評価活動を通しての評価・意見等

◇全体を通しての総合評価

- ・重点目標の検証結果は、教員それぞれの立場に応じた反省と課題が示され、大変充実している。考察がわかりやすい。
- ・主体性を持たせる工夫がされていた。目標を待たせるために絵本からスタートしたところは良かった。
- ・子どもを大切にした保育がされていた。時として、安全を最優先に考えるべき場合もあると思う。
- ・異年齢での関わりや色々な体験をすることは、昨年同様コロナ禍で難しく、減少していた。職員の評価からも十分ではなかったと反省があった。
- ・満足度調査の項目11では、10パーセントの方があまり当てはまらないとしていた。コロナの関係で参観できないことがあったことが評価につながっているのが残念である。
- ・世代間交流についても満足度調査の結果が10パーセントの方があまり当てはまらないとしていた。仕方がないことだが、評価としては下げさせていただいた。
- ・園のアンケートを読み、保護者の満足している、安心している気持ちが伝わってきた。やや不満という項目を一つ一つ見直し、具体的に改善方法を話し合えると良い。他学級の保護者への声かけは、なかなか大変であるが、笑顔で対応することは大切である。
- ・保護者アンケートの結果で90パーセント近くが満足を占めていた。ただし、数パーセントの保護者は、意見として、苦情や要望を言っていた。この意見を尊重し、できることから改善していけば、満足度が増えていくと思う。先生方の自己評価は各自十分に理解できている。良いことは前に進め、反省すべきことは改善していったら良いと思う。
- ・職員は、出かけていくことは難しいが、リモートなどで研修をしっかりと行えていてよかった。
- ・職員の自己評価では、各自が自分に対し厳しい見方をしていると感じた。保護者からの評価は高く評価されており、職員の自己評価以上に好感を持って観られていると感じた。私自身も、参観をし、職員の取り組む姿勢や園児の様子から、その成果が感じられた。

◇改善提言事項

- ・重点的に行うべきところが多くなっていて、取り組むのが大変である。項目を絞り、ここに力を入れて行くと明確に表記した方が取り組みやすい。やって当たり前なことは表記しないが、やらなくてよいということではないことを理解していればよいのではないかな。
- ・働き方改革は、今後も進めてほしい。頑張っている職員の為にも、時間で区切ることは大切にしていけるとよい。
- ・コロナ禍で体験できないことや、制限があって行えなかったことを見直し、工夫するとよい。
- ・園内研修の充実を図り、保育教諭の意識の差をなくしてけるとよい。
- ・個人記録の内容、記録の取り方を充実させ、子どもの姿を読み取るようにする。
- ・利用者満足度調査において、子どもの園での様子が十分に伝わっていない記述があったので、保護者の心情を考え、細やかな対応をお願いしたい。

◇その他意見

- ・玄関にある季節のデコレーションに感激する。
- ・ボランティアをさせて頂いた際、元気に挨拶をしてくれる子、ボランティアに対し、お礼を言ってくれる子がいた。普段から先生方の姿をみているからだと感じた。
- ・コロナ禍で制限の多い中、子どもたちの為に考え行事等を開催して頂きありがとうございました。子どもたちの為に何かしてあげたいという愛情を感じた。その思いが伝わるので、保護者としては安心して通わせる事ができている。
- ・新型コロナウイルス感染症に対し、終息も未だ見られない中での園活動は大変だと思うが、頑張ってください。